

わんぱく学園ニュース

平成23年9月/10月号 No. 154

秋の初め、夏の日差しの名残りを思い起こさせる深紅の花を咲かせる。花が咲くときには、葉は無く、葉が緑を広げる時には、姿を消す花・・・そう・・・彼岸花の咲く頃——。互いに 想いを追いながら 季節は巡る・・・相思草（そうしそう）ともいう。

“去りし夏、狭間（はざま）にゆれる、彼岸花”

秋は夏と共にはない。夏の暑さすら思い出になり、秋の涼しい風に入れ代わる・・・その狭間で過去と未来が交差する。そこに、忘れがたい思い出を深紅の花にたとえてうたいました。

土江 和世

~~~~~

今回の原稿は、わんぱく学園の立ち上がりから大変力になっていただいている安食ひろ先生にお願いしました。安食ひろ先生は、ここ出雲在住の陶芸家です。世界30カ国余りを旅し、田部美術館大賞を1987年に受賞、NHKBS2“やきもの探訪”でもとりあげられ、2005年に日本人として初めてニューヨーク・メトロポリタン美術館に収蔵。メキシコやインドなどで個展を開催するなど、ともかく、スケールの大きな発想に溢れ、自愛に満ちた作品を生み出す・・・こんな桁違いの陶芸家が、ずっと今日まで、この“わんぱく学園”の理念に共感して支えてくれたのです。

## 「原発のウソ」

陶芸家 安食ひろ先生

わんぱくニュースに、何と重いニュースと思われるかも知れませんが、今回災害にあった塩釜市の友人が送ってくれた一冊の本、それを読み、頭がフラフラ、目まいを起こしそう。えっ そうなの、原発って、そうなんだ、と思うような所を、かいつまんで書いてみようと思います。

### ○原子力が儲かる訳

独占事業であって、電気事業法で必要経費に利潤を足したものを原価とし、税金はない、電力

会社は、レートベース（資産）に報酬率をかけることができるので、原子力発電所は資産であるから、どんどん建てる。そして世界一高い電気料金となる。

2009年の損害賠償法では、上限千二百億円、それ以上は国が支払う（つまり税金）というおかしいシステム

### ○二酸化炭素の問題

原子力発電所の炉の中でウランが核分裂をして熱を出す時には二酸化炭素は出しませんと言うべきで、それまでには、森林や山を削ってウラン鉱を掘り出し、それを製錬所に運び0.7%の燃えるウランをとり出し、それを濃縮する工場に持って行き、またそれをペレットというものに加工してようやく発電所で使えるのです。また原子力発電所も巨大な鉄とコンクリートの建物を作るのですから、二酸化炭素が出ないと言うべきではないと思います。そして、やっかいな“死の灰”を生産するのです。

### ○資源枯渇

石炭、天然ガスはまだ沢山ある。石油よりウランが早く枯渇するのは常識だそうです。高速増殖炉、プルサーマルに至っては、もう狂気の沙汰なので言いません。

### ○原子力発電所（海温の装置）

百万キロワットの電気を作るのに、炉の中では三百万キロワットの熱を出すそうです。二百万キロワット熱は水でさます。そのさましに使った温水は毎秒七〇トン。七度、温められた温水として海に放出、青森の岩木川が毎秒七十三トンで同じ位、発電所のある数だけ、温水の川があると同じ様なもの、二酸化炭素は温暖化という前に、もう直接、温めているのである

### ○負の遺産

核のゴミは、ウラン鉱山、製錬所、濃縮、加工施設、発電所が沢山、出てくる。発電所もいずれは廃炉、このやっかいなゴミ、そう簡単に捨てられない。例えば比較的、易しい、低レベル廃棄物、使用済ペーパー、作業着、そんなものでも一年でドラム缶、千本。

二〇〇五年には七〇万本、その内二〇万本を六ヶ所村に穴を掘って、コンクリートで、フタをして粘土で固め、土をかぶせて（謂ゆるくさい物にはフタ方式）地下は湿気が多くドラム缶もくさるので、脇に点検路をつけて監視するそうです。

何年、三百年だそうです。え！！誰が！！

“原発のウソ” 扶桑社新書より

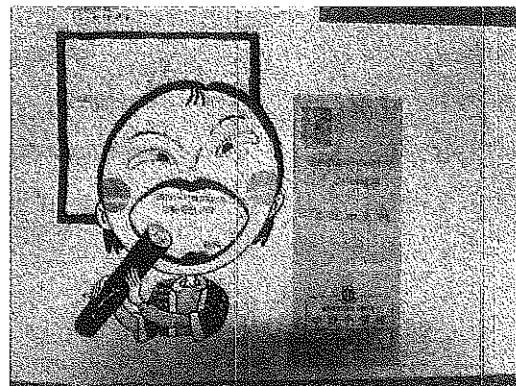
小出裕章（コイデヒロアキ）

京都大学原子炉実験所助教授

～真打登場！！??～

これは・・・?  
この顔は・・・?そう!これぞ“かあちゃん” 特徴まさに まさに ピッタリ

大きな寿司、まるごと大きな大きな口に  
吸い込まれようとしています。  
矢でも鉄砲でも、どんな“男”でも??  
このパワーで長男広と歩んできたのです。



ところで、この愛すべきイラスト  
一体誰が??

そう、ずっとずっと昔、わんぱく学園の立ち上がりから大きな支えとなってくれた  
飯塚 真澄さんの作品です。  
ある時。ふとこのイラストがあったことを思い出し、2時間半もかけて、部屋中探し、探し、  
やっと引き出しの奥にあったイラスト入りの封筒をみつけたのです。  
軽妙なタッチの中に、ユーモア、粋、エスプリ・・・こんなセンスの男性が集まってくれたのです。  
今は真澄さんは天国・・・彼が逝く直前にくれたイラストなんです。  
私の夫と大の親友・・・きっと、二人は、天国で、このイラストのブログを見て”格拉グラ・・・”

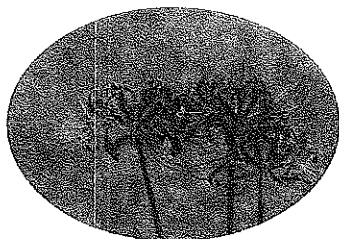
10年ぶりに出会ったこのイラスト。ちょっぴり悲しくてちょっぴりうれしい・・・  
大切に 大切に・・・そっとイラストを抱きしめる私、かあちゃんでした。

記 かあちゃん

\*飯塚真澄さんは、今は亡き夫と、現在もわんぱく学園を支えていただいている陶芸家安食ひ  
ろ先生と三羽鳥の一人として、型破りな発想をして、応援してくれました。福祉に熱心で、子  
ども達への本当の愛情に溢れたひとでした。障がい関係なく、公平にきちんと、善悪を教えて  
くれたひとでした。さりげない気配り、常に真剣でした。

このイラスト入りで、このお手紙をいただいたとき、彼は最後の勤め先、三刀屋の中野小学  
校の校長先生をしていました。肺を病み、まだ若い年齢なのに、優しくあたたかい思い出を残  
して去って逝きました。

病床で、搾り出すように彼が語ったことば。天井の一点を見つめ・・・一言”残念だ・・・”  
忘れられないことばでした。



彼岸花

■9月&10月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

| 月 日           | 内 容                                                                                                                                                                          |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月11日<br>(日)  | □粘土コネコネ遊び “こんどは、何つくって遊ぼうかな～?”<br>場所：アトリエ「おちらと」 ※直接「おちらと」へ来てね。<br>担当：安食ひろ 土江和世<br>参加費：100円                                                                                    |
| 9月18日<br>(日)  | □ポップコーンづくり<br>“誰にでもつくれるよ!おいしいよ!!”<br>場所：アトリエ「おちらと」 ※直接「おちらと」へ来てね。<br>担当：福田稔 土江和世                                                                                             |
| 9月25日<br>(日)  | □地区民体育大会のためお休み。<br>地域の友だちやいろいろな人とも仲良しになろうね。                                                                                                                                  |
| 10月2日(日)      | □お休みです                                                                                                                                                                       |
| 10月 9日<br>(日) | □穴道湖一周 一畑電車やバス、JR電車に乗って大旅行!<br>担当：常賀信寛 土江和世<br>準備：弁当、水筒<br>お金(乗り物代200円 不足分は学園で補助)<br>集合：雲州平田駅 10時30分(厳守)<br>日程：雲州平田駅発 10:41→松江穴道湖温泉駅→<br>松江城(お弁当)→バス→JR松江駅→出雲市駅→<br>雲州平田駅着?時 |
| 10月16日<br>(日) | □お月見しよう...!(ひと月遅れ)<br>“お月さまは、まーるくないかもしれないけど、<br>きっとお団子は、まーるくおいしいぞ!”<br>場所：アトリエ「おちらと」 ※直接「おちらと」へ来てね。<br>担当：山口恵子 土江和世<br>参加費：200円                                              |
| 10月23日<br>(日) | □ハゼ釣りしよう!“さーて、何匹つれるかな??楽しみ・・・!!”<br>・釣り竿がある人は持って来てね。<br>餌、釣り竿(家がない人の為)は学園で準備します。<br>・穴道湖周辺のゴミ拾いもしようね<br>場所：雲州平田駅 9時50分集合<br>担当：福田稔 田中修                                       |
| 10月30日<br>(日) | □愛宕山散歩&ゴミ拾い<br>“さわやかな風に吹かれて、気持ちよく散歩、<br>山もきれいにして、気持ちよく...”<br>集合場所：アトリエ「おちらと」<br>準備物：水筒、ゴミを入れる袋(指定のゴミ袋は学園で準備)<br>担当：横野良樹 常賀信寛 土江和世                                           |

◆集合時間・・・9時50分(指定時間が無い場合)  
◆集合場所・・・指定場所へ直接  
◆学園問合・・・NPO法人サポートセンターどりーむ  
電話/FAX:0853-63-4001 携帯:090-7774-5913  
Mail:sc-dream-kt@sky.plala.or.jp

文責:土江和世